

# 漁海況速報

7-No. 49

茨城県水産試験場  
漁業無線局

令和8年 3月 6日～ 3月12日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

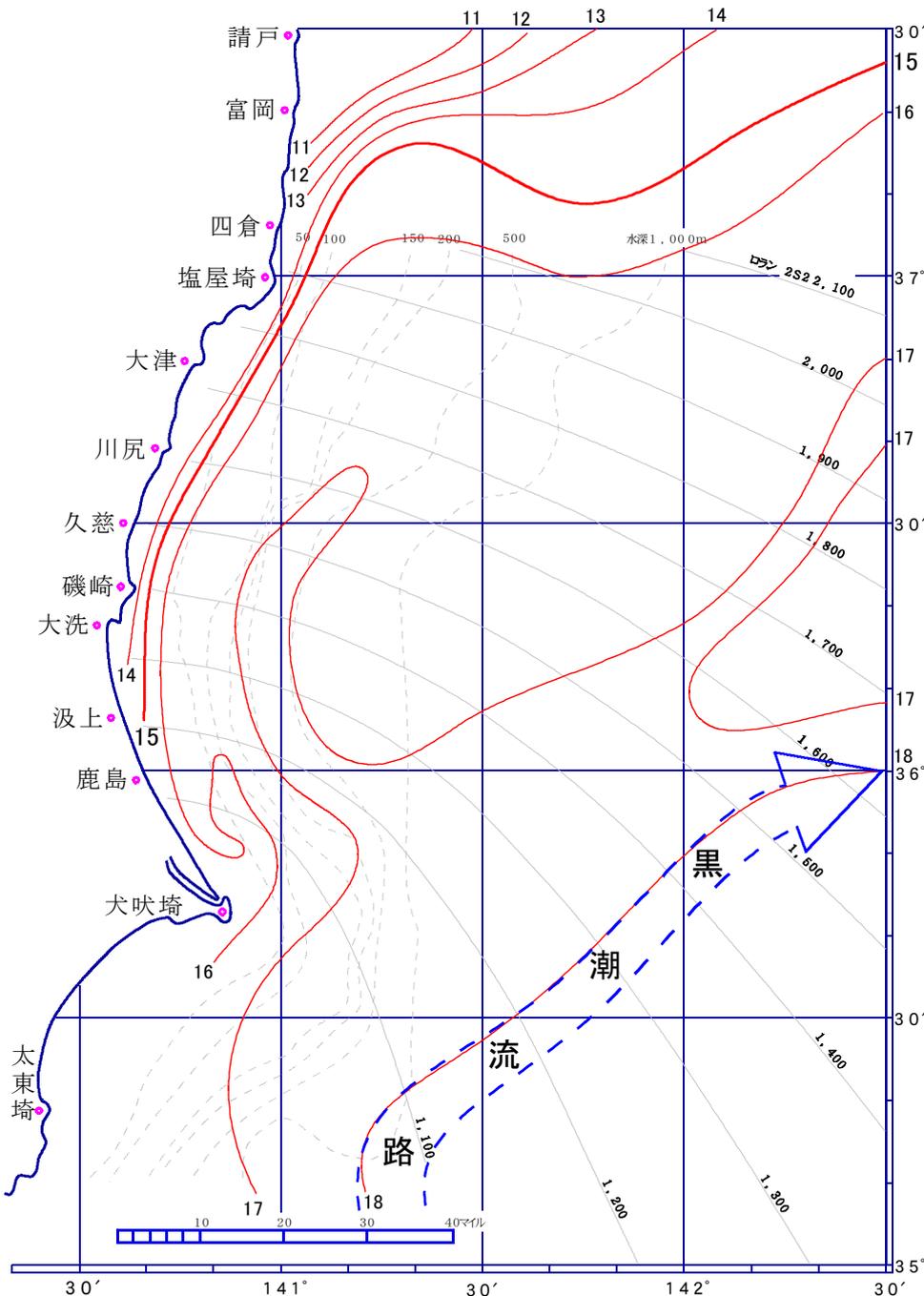
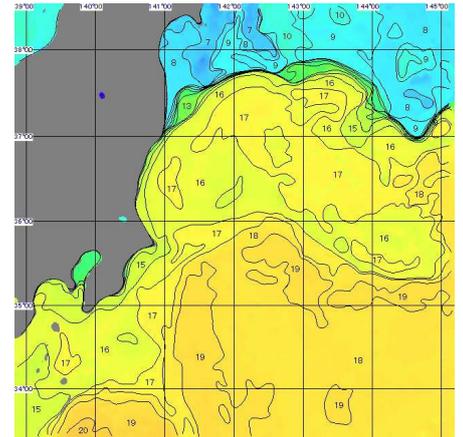
那珂湊定地水温 (°C)

日	令 8	令 7	平年
3/6	13.0	13.0	10.1
7	13.5	12.6	10.1
8	欠測	12.6	10.1
9	13.4	12.2	10.1
10	12.7	12.7	10.2
11	12.9	12.9	10.2
12	13.1	13.3	10.2
平均	13.1	12.8	10.1

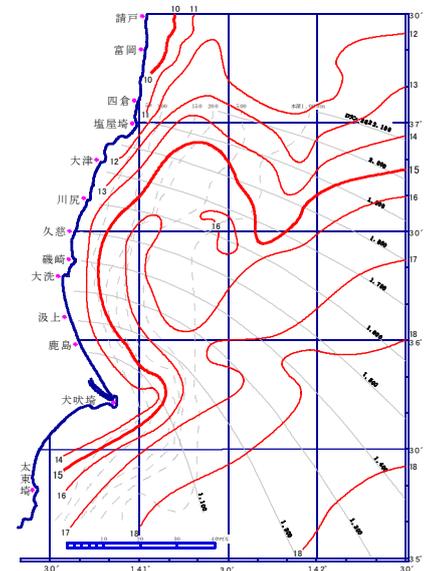
30年平均: 1991~2020年

令和8年 3月 6日～ 3月12日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和7年 3月 7日～ 3月13日

【海況図】

## 【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東30マイル付近を東北東に流れ、  
36° 00' N 142° 30' E付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、13～17℃台の水温となっている。

# 漁況の特徴

7 - No. 4 9

属地、単位＝四捨五入

3/5～3/11

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
本ジラス	船曳網	大洗町	12	5,483	63,050	4
サヨリ	船曳網	久慈浜丸小	288	1,254	360,550	
		久慈町	102	2,355	240,910	
ヒラメ	小底5t以上	平潟	460	1,274	585,446	
	"	久慈町	138	1,349	186,680	
	"	那珂湊	125	1,911	239,605	
	その他釣り	川尻	15	1,637	24,390	
	"	那珂湊	12	2,386	28,150	
	大型定置網	会瀬	66	1,852	122,200	
タイ類	小底5t以上	平潟	314	900	282,735	
	"	久慈町	346	613	212,275	
	"	那珂湊	2,113	500	1,057,572	
	その他釣り	平潟	3	249	722	
	"	大洗町	1	400	400	
	大型定置網	会瀬	25	814	20,518	
スズキ	小底5t以上	平潟	12	573	6,988	
	"	久慈町	7	191	1,320	
	"	那珂湊	117	468	54,544	
	その他釣り	川尻	1	400	560	
	"	那珂湊	2	900	1,440	
	大型定置網	会瀬	186	396	73,570	
アナゴ	小底5t以上	平潟	135	350	47,200	
	"	川尻	7	400	2,880	
	"	久慈町	4	500	1,900	
アンコウ	小底5t以上	平潟	580	218	126,273	
	"	川尻	41	302	12,440	
	"	久慈町	295	366	108,150	
	"	那珂湊	45	980	43,993	
	大型定置網	会瀬	2	250	575	
ホウボウ	小底5t以上	平潟	636	350	222,956	
	"	久慈町	142	398	56,635	
	"	那珂湊	409	711	290,621	
	大型定置網	会瀬	6	1,138	7,056	
フグ類	小底5t以上	平潟	35	3,389	119,961	
	"	久慈町	2	1,500	3,450	
	"	那珂湊	28	1,325	36,430	
	延縄	大洗町	16	4,000	62,000	
	その他釣り	平潟	6	3,950	23,700	
大型定置網	会瀬	1	1,300	1,430		
サワラ	その他釣り	那珂湊	9	2,315	21,760	
スルメイカ	小底5t以上	平潟	190	919	174,600	
	"	川尻	438	595	260,800	
	"	久慈町	1,012	490	495,800	
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	616	1,168	719,150	
	"	川尻	1,465	1,442	2,112,210	
	"	久慈町	4,507	1,192	5,369,700	
	"	那珂湊	9	1,371	12,340	
マダコ	小底5t以上	平潟	8	925	7,679	
	"	久慈町	4	1,300	4,550	
	"	那珂湊	11	1,652	18,830	
マアジ	小底5t以上	平潟	38	209	7,945	
	"	川尻	51	100	5,080	
	"	久慈町	414	123	50,750	
	"	那珂湊	49	778	38,345	
	その他釣り	平潟	3	400	1,200	
	"	久慈町	2	300	510	
大型定置網	会瀬	169	516	87,225		
サバ	小底5t以上	川尻	17	50	870	
	"	久慈町	4	100	380	
	"	那珂湊	3	350	875	
	その他釣り	"	9	774	7,200	
	大型定置網	会瀬	277	315	87,161	
ブリ類	小底5t以上	平潟	58	204	11,714	
	"	那珂湊	100	661	65,865	
	その他釣り	久慈浜丸小	3	200	660	
	"	那珂湊	6	575	3,680	
大型定置網	会瀬	71	482	34,023		

◎

## まき網

(漁獲は1投網当り)

今週は時化のため、操業船はなかった。

◎

## 小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

カエリ・・・大津地先から高戸地先で  
75～725kgの漁獲。

ノレソレ・・・日立地先で2kg(1隻)の漁獲。

サヨリ・・・日立地先で10kg～195kg  
(1ヶ統)の漁獲。

◇曳釣り

久慈浜地先から大洗地先でヒラメ1～10kg、イナダ1～5kg、ホウボウ1kg前後、サワラ2～6kgの漁獲。

注 延隻数:銘柄別隻数

茨城県水産試験場漁業無線局

# 水産の窓

## 令和8年冬春季(3~5月)の沿岸漁海況予報

### 1. 令和7年冬春季(3~5月)の海況予測

#### (1) 海況の概要(3月上旬)

2月24日の海面水温図を図1に示しました。黒潮続流は波崎の東約30マイルを北上しており、北限は142° 30' E付近で37° N付近まで達し、北偏傾向にあります。

茨城県沿岸域の水温は、12~16°C台(黒潮が流れる沖合域は17~19°C台)で、暖水の影響がみられます。

また、現在、親潮第一分枝から派生した親潮系冷水が福島県沖まで南下しています。今後、黒潮続流の流路によっては、本県沖に親潮系冷水が差し込む可能性があります。

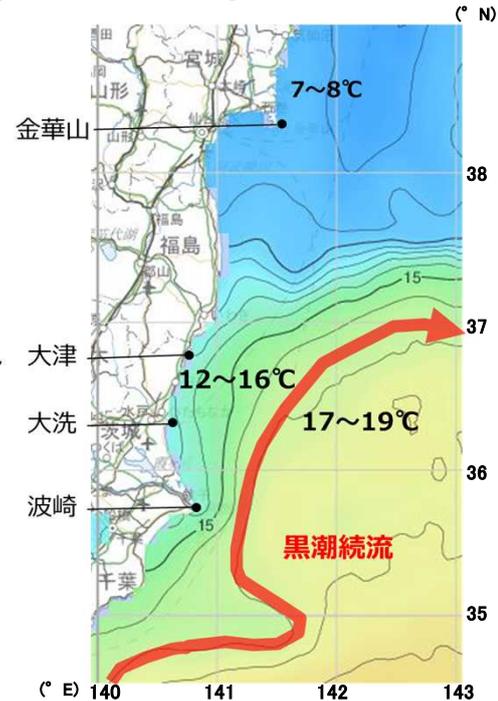


図1 気象庁「海洋の健康診断表」より海面水温図(令和8年2月24日)

#### (2) 海況の予測(3~5月)

1月と2月の海況を、図2のように

**暖水パターン**: 黒潮からの暖水の影響が強い

**中間パターン**: 暖水・冷水パターンの中間

**冷水パターン**: 親潮からの冷水の影響が強い

に分類すると、

1月は「**暖水パターン**」、2月は「**中間パターン**」

に近い「**暖水パターン**」となりました。

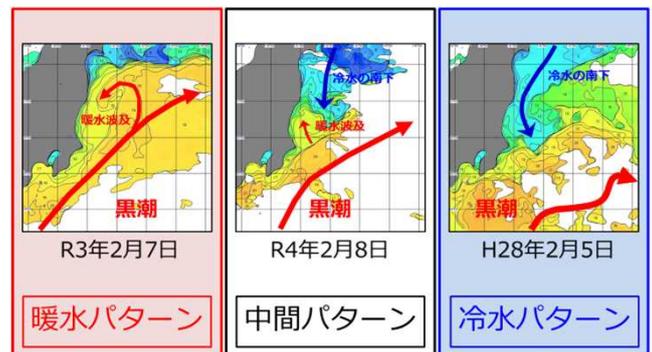


図2 各海況パターンの模式図

今年の2月は若干冷水の影響を受ける「暖水パターン」でしたが、近年の動向をみると、1月、2月が「暖水パターン」であった年は3月以降も継続することが多いため、今年の3月以降も、「暖水パターン」が続く可能性が高いと考えられます。

### <海況予測>

○黒潮の北偏傾向が継続しており、現在、本県沿岸域では**黒潮からの暖水の影響がみられる**。

○親潮第一分枝から派生した冷水が福島県沖まで南下している。

○3月以降も「**暖水パターン**」が続く可能性が高いが、本県沖に一時的に冷水が差し込む可能性もある。

以上より、茨城県沿岸域の水温は引き続き「**高め傾向**」で推移すると考えられます。

## 2. 令和8年冬春季の船びき網漁況予測

### (1) シラス

直近5ヶ年の冬春季のシラス漁模様を図3に、カタクチイワシ卵採集密度の推移を図4に示しました。

また、今年の漁模様について、次の観点から予測を行いました。

- ・黒潮続流の北偏傾向が続き、本県沿岸域の水温は引き続き「高め傾向」で推移する見込み(前述)であり、シラスの漁場形成には好適環境となる。
- ・1月、2月の調査で成熟したカタクチイワシ成魚が確認されず、卵もほとんど確認されていない。

#### 【予測】

4月まではシラス漁は低調に推移する

※沖合のまき網漁場でカタクチイワシ成魚が確認されていることから、これらが順調に成熟・産卵すれば、5月以降徐々に漁模様が好転する可能性がある。

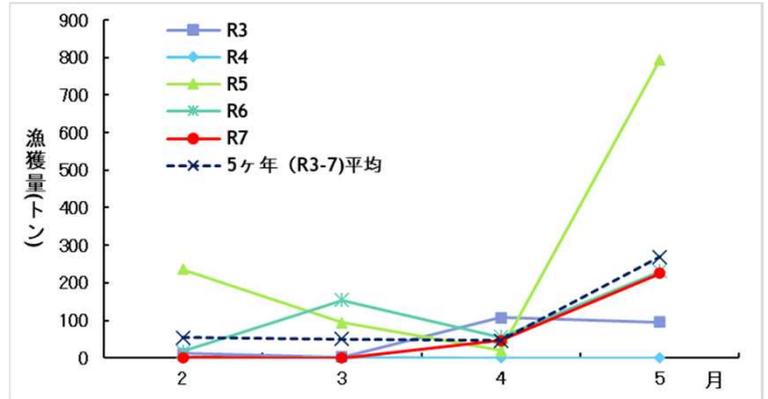


図3 過去5ヶ年の冬春季シラス漁獲量月別推移

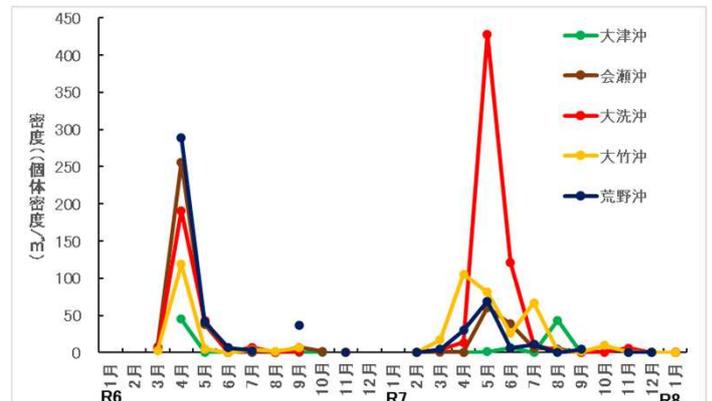


図4 カタクチイワシ卵採集密度の月別推移

### (2) イカナゴ

本県で漁獲されるイカナゴは、仙台湾からの来遊群が主体と考えられています。宮城県の上イカナゴは平成31年以降、ほとんど漁獲がなく、発生量は極めて低水準で、令和8年漁期前調査でも資源回復の兆しが見えません(図5)。

【予測】本県では漁場形成しない

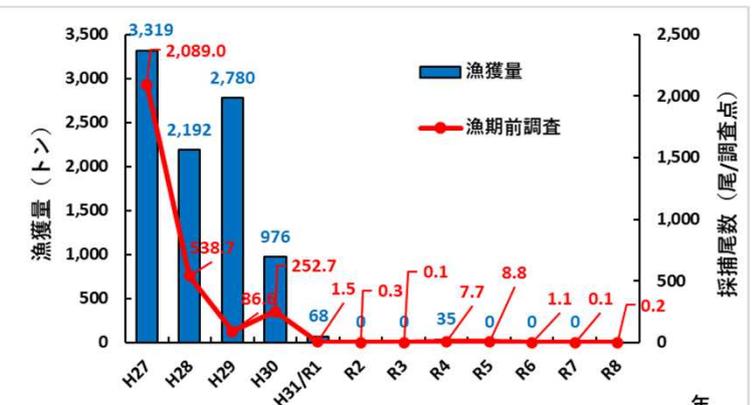


図5 宮城県イカナゴ漁獲量と仙台湾の漁期前調査結果の推移

### (3) オキアミ

9°Cの海面水温は3月上旬に相馬付近まで留まっており、本県への冷水の南下は期待できません(図6)。

【予測】本県での漁場形成は難しい

令和7年4月に黒潮大蛇行が終息し、海況に変化が起こりやすくなっています。引き続き海況変化等に注視し、変化があればあらためて情報発信します。

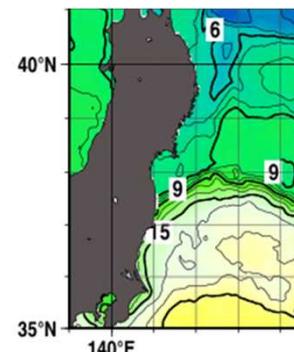


図6 R8年3月10日の海面水温図 (気象庁海洋の健康診断表より)

(回遊性資源部 茅根 正洋・長谷川 拓哉)

[次回予告] R8.3.19 発行の「水産の窓」は「令和8年3月の海況と今後の予測」を予定しています。

## シン・地魚見本市を開催しました

### 1. 開催趣旨

本県では、底曳網での漁獲物を始めとして、漁獲されるものの価値が低いという理由で利用されていない資源（未利用、低利用資源）が存在します。水産試験場では、これらの資源の有効活用を図るため、未利用・低利用となっている資源を「シン・地魚」と銘打ち、水産試験場の調査船「いばらき丸」による底曳網調査で漁獲された魚類等を展示する「シン・地魚見本市」を3月5日に開催しました（図1）。

### 2. 開催結果

見本市当日には、水産加工業者や卸業者を始めとして計36名の方にお越しいただきました（図2）。来場者からは、「こういう魚が獲れることを知らなかった」「サンプルとして加工してみたい」といった声が聞かれました。アンケートの結果、「大いに参考になった」「まあまあ参考になった」という回答割合が94%と高く、特に興味を持った魚として回答が多かった魚種は「オキアナゴ」「アカドンコ」「ミドリフサアンコウ」「アメリカナマズ」でした。また、「積極的に取り扱いを検討したい」「価格や条件が合えば取り扱いを検討したい」との回答も多く得られ、今後の水揚げにつながる可能性も感じられました。

今回の見本市の結果を踏まえ、水産試験場では今後も資源の有効活用に向けた取組を進めてまいりますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

（定着性資源部  
 水産物利用加工部



図1. 見本市開催ポスター  
 （上：表面、下：裏面）

多賀・外山・水谷・西  
 小松・渡邊・鈴木・高濱



図2. シン・地魚見本市当日の様子  
 （左：展示物よりミドリフサアンコウ・ホシザメ、右：展示物の一覧）